# 令和元年度 災害支援協議会を開催しました

テーマ: 大規模災害時の災害支援活動を素早く的確に行うために

近年は、想定を越える大規模が災害が各地で発生しており、今後、県内においても、このような災害が、いつ、どこにおいても起こりうるものと考えております。

このような中、長崎振興局においては県民の安全・安心確保の観点から、大規模災害発生時の県所管の公共土木施設被災等への緊急対応体制の充実を目的として、県が緊急の作業等を実施する必要があると判断した場合、災害支援協定団体に支援要請を行うこととしておりますが、その連携強化・充実を図る目的で、定期的に意見交換会や訓練等を行っております。今回、当局と災害支援協定締結団体8団体とが、下記の通り意見交換会を開催しました。

開催日時:令和元年6月18日(火)13:30~15:00

開催場所:長崎振興局 AB会議室

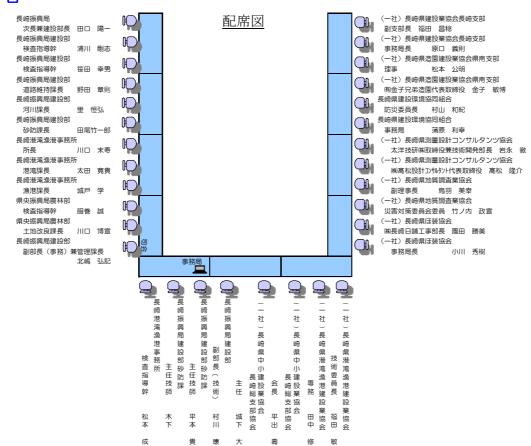
# 〈 次 第 〉

- 1. 開会挨拶
- 2. 参加者紹介
- 3. 議事
  - ●議題① 平成30年度の活動報告
  - ●議題② 令和元年度の活動予定
  - ●議題③ 近年の被災状況と被害情報収集の取り組み
  - ●その他
- 4. 閉会



【田口次長の開会挨拶】

#### 〇参加者



## 〇議 事

## ■議題① 平成30年度の活動報告

県、(一社)長崎県建設業協会長崎支部、(一社)長崎県建設環境組合、 (一社)長崎県地質調査業協会、(一社)長崎県港湾漁港建設業協会の順で報告

## ■議題② 令和元年度の活動予定

県、(一社)長崎県地質調査業協会から報告

#### ◎防災演習1

- ●防災演習1の情報伝達訓練におけるスマートフォン操作を確実に行うため、「スマートフォンへのシステム設定と活用方法」について説明を行う。
- ●その後に、地震に伴い想定される2箇所の被災に対する応急対策 演習を官民混合で編成した6チームに分け、ワークショップ形式で行う。
- ●災害支援協定締結6団体とも、「割り当て人数を出席させること」及び「開催日時」に、 特に問題ないことを確認した。

#### ◎防災演習2

- ●防災演習1で担当者へ周知を図ったのち、防災演習2として初動対応訓練を実施する。
- ●参加団体としては、昨年と同様、災害支援締結6団体で実施する。
- ●大規模な地震災害を想定し、現地確認の場所については、あらかじめ設定した10箇所程度を想定し、報告を行う。内、1~2箇所についてUAVによる撮影写真を報告する。

#### ■議題③ 近年の被災状況と災害情報収集の取り組み

近年土砂災害が甚大化また頻発化している中にあり、国においては、情報収集の手段として、人工衛星画像や航空写真を用いた調査なども行われ、二次災害防止のための技術的助言などを行う土砂災害専門家の派遣に繋げられていること、また、目視できない箇所や危険な場所など、UAV(ドローン)を活用することで、迅速で的確な情報収取が可能とな

り、災害防止対策に繋がっていることが などを紹介した。

また、昨年大雨特別警報が出された 7月の豪雨により被災した箇所の報告を 「ハザードマップ作成支援システム」を 活用したスマートフォンで行うとともに、 UAVでの撮影も合わせて行うことで、 より詳細な情報取集が可能となることを 説明した。

その他、円滑な災害支援体制の確保に繋がるよう、本年度から新たな情報として導入されている警戒レベルについて、情報提供を行った。









[説明 事務局 平本主任技師]



【人工衛星を活用した調査】



【ドローン使用状況】



【H30.7情報伝達】



【R1導入の警戒レベル】

# 【閉会(まとめ)】

# ●令和元年度の活動について

連絡体制の強化と対策技術の維持向上を図るため、昨年度と同様に防災演習1(応 急対策演習)と防災演習2(初動対応訓練)を継続して実施する。

なお、防災演習2の初動対応訓練では、「砂防課開発ア"リを活用したスマートフォ ン」を主体に「従来のメール」も選択可能とした情報伝達、並びに被災想定1~2箇 所の UAV による被災状況の撮影を要請する。

以上について確認し、閉会した。







【意見交換の様子】